



ROCK PAINT

061-7500番級

2液型 サビカット®

弱溶剤系変性エポキシ樹脂プライマー

高 防 食 性

鉛・クロム化合物を配合せず

付着・浸透力大

塗料用シンナー希釈型

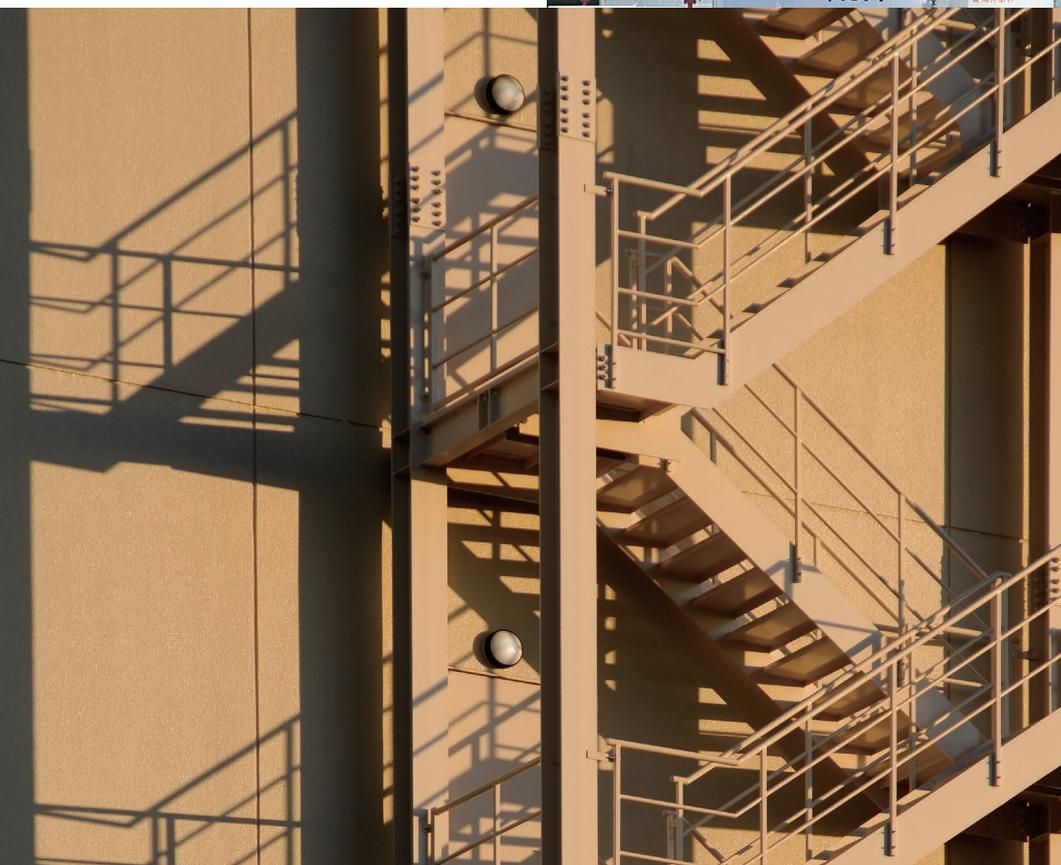
ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます。

日本建築学会材料規格

JASS 18 M-109
適合品



ロックペイント 株式会社

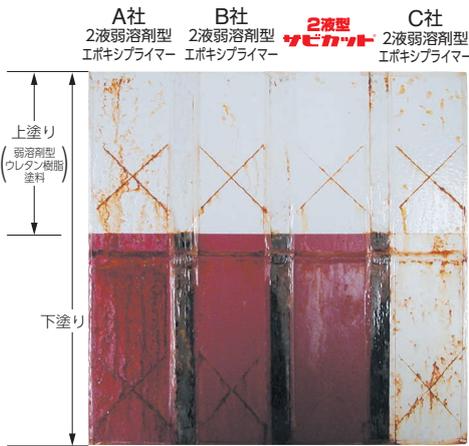
「2液型サビカット」は、付着性及び浸透性にすぐれた弱溶剤可溶タイプの特変性エポキシ樹脂を使用した高性能のサビ止め塗料です。従来からの2液溶剤型エポキシサビ止めの性能は維持し、使いやすくなったため鉄鋼構造物の新設塗装や塗り替えの大きな威力を発揮します。

特長

1 すぐれた浸透性と防錆力

浸透性にすぐれた特変性エポキシ樹脂の使用で、付着性、浸透性がすぐれており、防錆効果においてもすぐれた性能を発揮します。

防錆性比較試験



塩水噴霧試験400時間後

2 塗料用シンナー希釈型

溶解力の弱い溶剤（塗料用シンナー）を使用し旧塗膜を侵すことが少ないため、活膜状態の各種旧塗膜に直接塗装が可能です。また、においがマイルドなため、周辺地域や作業者の環境にも配慮した塗料です。

3 鉛・クロムを使用せず環境にやさしい

特殊防錆顔料の採用で鉛やクロム化合物を原料に使用していない環境配慮型のサビ止め塗料です。

4 すぐれた塗装作業性

ハケ、ローラーやエアレス塗装の作業性にすぐれ、たれにくく、上塗り塗料の吸い込みも少ないため、美しい仕上がりが得られます。

付着適性

◇素地との付着性

素地	適性
ガル鋼板(SPCC-SD)	○
黒皮鋼板(SS-400)	○
トタン板(JIS G 3302)	○
亜鉛メッキ鋼板(HDZ45) *1	○
ガルバリウム鋼板	○
ステンレス(SUS304)	○
アルミニウム(JIS H 4000 A1100P)	○
アルミニウム(JIS H 4100 A6063S)	○

◇適用性のある上塗り塗料

種類	当社該当製品 *4	適性
フタル酸樹脂エナメル	ロックタフコート	○
弱溶剤1液架橋型シリコン樹脂系塗料	1液ユメロックDX	○
弱溶剤2液型シリコン樹脂系塗料	ユメロック	○
	ハイパーユメロック	○
弱溶剤2液型フッ素樹脂系塗料	サンフロンUV	○
弱溶剤2液型無機系塗料	ロックハイパーリアクターコート無機	○
	1液ユメロックルーフ	○
	ハイパーユメロックルーフ	○
	サンフロンルーフ	○
金属屋根用、トタン用塗料 *5	ロックハイパーリアクターコート無機ルーフ	○

◇旧塗膜との適用性

旧塗膜 *2	適性
合成樹脂調合ペイント	○
フタル酸樹脂エナメル	○
アクリル樹脂エナメル	○
塩化ビニル樹脂エナメル	○
塩化ゴム系塗料	○
金属屋根用、トタン用塗料	○*3
ポリウレタン樹脂系塗料	○
アクリルシリコン樹脂系塗料	○
フッ素樹脂系塗料	○*3

【注意】

- ※1 ● 目付量の多い亜鉛メッキ鋼板は3～4か月屋外放置しペーパー掛け後塗装してください。
- ※2 ● 旧塗膜は塗装後数年以上を前提としています。
● 旧塗膜が塗料用シンナーで溶解する場合はちぢみを生ずることがありますので、試し塗りを行ってから使用してください。
● 左記以外の適用性につきましては最寄りの営業所へお問い合わせください。
- ※3 ● 表面あらしが必要な場合があります。
- ※4 ● 水性塗料は上塗りとして使用できません。
● 2液型サビカットの乾燥が不十分な場合は、アミンブリードを起こすことがあります。
● F☆☆☆☆仕様の場合は、上塗り塗料もF☆☆☆☆の製品をご使用ください。(1液ユメロックDX、ユメロック、ハイパーユメロック、サンフロンUV、ロックハイパーリアクターコート無機)
● 強溶剤型の上塗り塗料を塗装する場合、24時間以上(23℃)乾燥させた後、塗装してください。
- ※5 高日射反射率(遮熱)塗料で仕上げる場合、下塗り塗料は専用のプライマーをご使用ください。

用途

- 屋内外の鉄鋼構造物、金属機器類の新設および塗り替え用下塗りとして
- 亜鉛メッキ面、トタン、ガルバリウム鋼板、アルミ板、ステンレスの新設及び塗り替え用下塗りとして

使用方法

下記の数値は標準的な値で、塗装現場の環境、気温、天候状態、膜厚、素地の状態などにより多少異なります。

1 下地調整 旧塗膜で劣化した部分は2種ケレンで除去し、チョーキング面、じんあいなどはサンドペーパーなどで除去し、乾燥した清浄な面にしてください。

2 配合 主剤：硬化剤＝9：1（重量比） 配合後は十分に混ぜ合わせてください。

3 希釈剤 塗料用シンナー

塗装方法	ハケ、ローラーの場合	エアレスの場合
希釈率	0～5%	5～10%
標準塗付量 ^{注)}	0.13～0.15 kg/m ² ・回	
塗り面積	106～123m ² /16kgセット・回	

注) 標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値で、被塗物の形状素材、塗装方法などによって異なります。

4 乾燥時間

気温	5℃	23℃	30℃
指触乾燥	2時間	1時間	30分
塗り重ね可能時間	8時間以上7日以内	4時間以上7日以内	3時間以上3日以内

● 夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため塗り重ね間隔はあまり日数を置かず実施してください。

5 可使時間

気温	5℃	23℃	30℃
可使時間	約7時間	約5時間	約3時間

● 硬化剤配合後は時間内に使い切ってください。特に夏場の高温時にはご注意ください。

種類と容量

品番	品名	容量	消防法分類	色	色調
061-7530	2液型サビカット 赤サビ色	14.4kg	2石		日塗工09-40L (近似)
061-7531	2液型サビカット グレー	14.4kg	2石		日塗工N-75 (近似)
061-7532	2液型サビカット ホワイト	14.4kg	2石		日塗工27-90B (近似)
061-7534	2液型サビカット ブラック	14.4kg	2石		日塗工N-10 (近似)
061-7910	2液型サビカット 硬化剤	1.6kg	2石	—	(黄味の透明色)

*色票は印刷のため実際の色とは多少異なります。

標準塗装仕様

◆一般鉄部・亜鉛メッキ鋼板・アルミニウム・トタン板囲いなどの塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量(kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間(23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具で、浮き塗膜、さびなどは電動工具、手工具で除去する。チョーキングした面、汚れ、じんあいなどはサンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	061-7500番級 2液型サビカット 配合比 主剤：硬化剤＝9：1	塗料用 シンナー	ハケ・ローラー： 0～5 エアレス： 5～10	1	0.13～0.15	4時間以上 7日以内
上塗り① <small>(弱溶剤シリコン系 仕上げ)</small>	114ライン ハイパーユメロック 配合比 主剤：硬化剤＝9：1		ハケ・ローラー： 5～15 エアレス： 10～20	2	0.11～0.13	2時間以上 7日以内
上塗り② <small>(弱溶剤フッ素系 仕上げ)</small>	081ライン サンフロンUV 配合比 主剤：硬化剤＝6.5：1		ハケ・ローラー： 5～15 エアレス： 10～20	2	0.12～0.14	3時間以上 14日以内
上塗り③ <small>(弱溶剤無機系 仕上げ)</small>	128ライン ロックハイパーリアクターコート無機 配合比 主剤：硬化剤＝9：1		ハケ・ローラー： 5～15 エアレス： 10～20	2	0.11～0.13	3時間以上 7日以内

- 上塗り塗料は上記3種以外に各種適応した上塗り塗料がご使用できます。
- 新設の一般鉄部に対する素地調整には、足場および飛散防止シート（必要に応じ防音シート）を仮設し電動工具を主体として手工具を併用し、錆を完全に除去してください。日本道路協会素地調整程度「2種ケレン」、または SIS St3。じんあい、水分、油脂分は完全に取り除き、塗装しない箇所はマスキングをしてください。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などにより、多少異なる場合があります。

施工上の注意事項

- ・塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、エフロレッセンス、レイタンス、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- ・気温が低いときや湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- ・絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- ・塗料全体をよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- ・硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がりが外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- ・硬化剤を配合した塗料は、時間の経過と共に増粘・固化して使用できなくなります。配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。
- ・夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。上塗りとの付着性が低下します。
- ・硬化剤はアミンブリード性の少ない、主剤との相溶性にすぐれたアダクトタイプですが、施工時及び硬化するまでの間、低温(5℃以下)になる箇所への使用はできません。
- ・降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測される場合は外部の塗装を避けてください。
- ・外部の塗装について、塗料臭気が室内に入らないように換気装置などを停止し、開口部などの養生を行ってください。
- ・塗装面の取り合い等で可塑剤が多く含まれる建材(塩ビ銅板、ラミネート銅板、プラスチック、ゴムパッキン、塩ビクロスなど)への直接の塗装は塗膜が軟化することがあり避けてください。また、これらの素材に塗膜が接触・付着しないように注意してください。
- ・サビについては完全に除去後、削りカス(サビ、鉄くず)を完全に除去してください。サビの発生原因となります。
- ・硬くてまだつやのある塗膜や吸い込みのない面に塗装する際は、あらかじめサンドペーパーで面を荒らしてください。
- ・溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので、素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- ・トタンの折り曲げ部分、継ぎ目部分などは、膜厚が得られない場合がありますので、サビ止め塗料は先に拾い塗りすることをお奨めします。
- ・亜鉛メッキ鋼板の目付量が多い場合には、3~4か月屋外放置しペーパー掛け後塗装してください。
- ・サビ止め塗装を工場で行う場合、下塗り塗膜のみで長期間放置していると塗膜が傷ついたり劣化したりしますので、被塗物の保管、運搬に注意し、速やかに上塗り塗装してください。
- ・素地が濡れている時は塗装を避け、乾いてから塗ってください。また、素地が直射日光などで極端に熱くなっている時は少し冷えてから塗装してください。
- ・乾燥過程で霜、夜露などの影響を受ける時間帯や、昼と夜の温度差が大きい時期は、結露による艶引け現象が起こる場合があるため、時間を考慮して塗装を行ってください。
- ・塗装時は、高い所から降り口を確保しながら塗装してください。塗りたての面は滑りやすいので絶対に乗らないでください。塗り残しがあった場合も乾燥後に補修塗りをしてください。
- ・作業時の安全には十分注意し、高所で作業する場合は安全ロープをかけて行ってください。
- ・塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- ・上塗り塗料は必ず2回塗り以上で仕上げてください。
- ・塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- ・改修塗装の場合、素地の種類や下地処理方法によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りすることをお奨めします。
- ・数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- ・塗り重ね可能時間(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより、多少変わります。
- ・各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となる事があります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- ・カタログに記載されていない素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所へお問い合わせください。
- ・この塗料はホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆タイプです。F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素地を含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆でなくなる場合がありますので注意してください。
- ・このカタログに記載されている上塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- ・取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生上及び取扱い上の注意

【製品の危険・有害性】

- ・引火性の液体である。
- ・溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になるおそれがある。
- ・大量又は継続的な暴露により重大な健康障害を引き起こすおそれがある。
- ・感作性があり、皮膚に付着するとかぶれやアレルギーを引き起こすおそれがある。
- ・2液型サビカット(主剤)は、変異原性のおそれがある物質を含有している。

【救急処置】

- ・目に入った場合には直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所に安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

【施工後の安全性について】

- ・本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うように指導ください。
- ・不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗らたてであるなどの立看板などを設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようご配慮願います。

【取扱注意事項】

- ・取扱いは引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服の着用や、取扱いは避けてください。
 - ・取扱い作業所には局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行ってください。
 - ・溶剤蒸気やスプレーストを吸入しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
 - ・できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着などを着用してください。
 - ・アレルギー体質の人は取り扱わないでください。
 - ・取扱い後は手洗い及びうがいを十分に行ってください。
 - ・作業着などに付着した汚れをよく落としてください。
 - ・よくフタをして直射日光を避け、5℃以上 40℃以下の安全でかつ子どもの手が届かない一定の場所に保管してください。
 - ・容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
 - ・指定された以外の商品と混合しないでください。
 - ・廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
 - ・火災時には炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いてください。
- 安全データシート(SDS)をよく読んで取り扱ってください。

ロックペイント株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2 大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000 TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000
札幌営業所 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-48 名古屋営業所 〒454-0059 名古屋市中川区福川町1-1
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304 TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433
仙台営業所 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-3-11 差正ビル201 岡山営業所 〒701-1134 岡山市北区三和1000番34
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255 TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966
西関東営業所 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1-15-16 福岡営業所 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112 TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <https://www.rockpaint.co.jp>

- 本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店